

鎌高新聞

発行 神奈川県立鎌倉高等学校 校長室

令和3年9月24日 第5号

若者の感染率が増加！

9月1日から、本県の県立学校は分散登校になりました。緊急事態宣言下で人流抑制が叫ばれるなか、分散登校により高校生の登校機会が減少しました。9月10日には、田村厚労大臣が「このまま順調に新規感染者が減っていけば」と発言し、緊急事態宣言の解除についての見通しを示しました。確かに、感染者数は減少傾向にあります。しかしながら、若者の感染者数に占める割合は高くなっています。特に、8月中旬から下旬にかけて県内高校の感染者数は極めて多くなっています。このため分「人流」を抑制し、教室に入る生徒数を減らすため、分散登校になっています。

若者の感染状況を新聞やテレビなどの記事・ニュース報道では、次のような状況で感染者がでています。

- ・グループで会食をし、マスクを着用せず会話して感染した
- ・ライブやフェスに行き、マスクを着用しない人達がいて感染した
- ・グループの友人宅でカラオケを行い、マスクを着用せず歌って感染した
- ・グループでレジャー施設に行き、マスクを着用せず過ごしたら感染した
- ・グループで宿泊して全員が感染した

生徒の皆さん、現時点では感染リスクの高い施設等に行かないことが、感染を防ぐことになります。登下校、昼食時、放課後にマスクをせず会話をしている限り、通常の学習、部活動、特別活動は難しいと言わざるをえません。特に、昼食時の会話については、以前も校内放送で止めてくださいと注意しましたが、改めて注意します。昼食時は「黙食」に努めてください。また、放課後、マスクを着用せず会話することも止めてください。

このことが守られずに感染しているケースは少なくありません。寝食を共にする時、マスクを外しての会話は止めましょう！感染リスクが非常に高まります。

県内の高校では、学習活動の遅れなどへの懸念以外に、部活動の大会の中止、部活動、体育祭や文化祭、修学旅行、球技大会などの学校行事にも影響がでています。3年生にとっては推薦入試や就職試験など、進路を決定する大事な時期であり、また一般入試に向かう生徒にとっても受験勉強の追い込みを迎える時期でもあります。感染者の多くは、後遺症があるといわれています。社会人や大学生で感染したケースで、集中力が欠如したり、倦怠感が抜けなかったりし、退職や休学になったケースがテレビで報道されていました。

自分の身は自ら守るため、感染リスクのある行動はしない。そのような場所には近づかない。毎日の健康観察をきちんとい行い、微熱があったり、味覚・嗅覚に異変を感じたりした時は大事を取ってください。病院に行って診察を受けてください。皆さんの一人ひとりの行動が、通常の高校生活に戻ることに繋がるのです。

テストと不正行為！

大学入学共通テストは、旧大学入試センター試験に代わり、2021年度大学入学者選抜（2021年1月16日・17日実施）から導入され、日本における大学の共通入学試験です。このテストは、独立行政法人大学入試センター（DNC）によって実施されています。

世界の多くの国々では日本同様に、大学に進学するためのテストが設けられています。アメリカでは日本の大学入学共通テストのようなテストは存在しませんが、SAT(大学進学適性テスト)やACT(アメリカンカレッジテスト)のスコアの提出を求める大学が少なくありません。イギリスでは義務教育修了の時にGCSE(General Certificate of Secondary Education)というテストを受けA～Gのグレードで評価され、大学に進学するにはC以上の評価が必要とされています。フランスにはバカロレア試験、ドイツにはアビドゥーアテスト、中国には普通高等学校招生全国統一考試(通称 ガオカオ)、隣国の韓国には有名な大学修学能力試験があります。

試験には不正行為がつきものと言われることがあります。中国の科挙(隋王朝 598 年～清王朝 1905 年)という選挙(現代でいう試験)の当初から不正行為がありました。2021 年 1 月に実施された大学入学共通テストでは 4 名の不正行為がありました。東京都会場では、ニュース等で報道されたように試験官の指示に従わず、マスクを正しく着用せずに不正行為になりました。他にも定規使用、カンニングペーパー所持、テスト終了後にマークシートに記入した者も不正行為とされました。大学入学共通テストで不正行為をした場合、直ちに受験中止となって退室させられ、その後の受験はできません。また、受験した全教科・科目の得点が無効になります。国家資格などでは受験資格が停止されたり、資格を剥奪されたりすることもあります。大学では、懲戒処分(3 か月の休学)を受け、卒業が遅れるケースさえあります。テストの不正行為は受験中の行為のみならず、テスト後も含まれます。例えば、大学に不正行為で入学した場合は、合格が取り消されます。

新型コロナウイルスの感染拡大により多くの大学でオンライン入試が実施されました。各大学は試験会場以外での受験、替え玉受験、カンニング等の不正行為防止のため策を取り入れています。筆者の経験では、試験中に何回か不正行為を見つけたことがあります。近年はテスト後の答案改竄を防ぐためマークシートリーダーやコピーを利用する学校もあります。

テストは個々の人間の実力を図るために課せられます。試験には公平性、平等性、公正性という要件が必要となっています。私立医科大学における女子受験生や浪人生に対する不利な得点操作、大学入学共通テストにおける英語の民間資格試験の導入延期など、この公平性、平等性、公正性にかかるので社会的な問題となったのです。

筆者は、定期試験の問題作成をする場合、公平性、平等性、公正性という要件を考え、試験前にノートを集めてクラス間での授業の進度や内容の質をチェックし、また、過年度の問題を見て同一内容にならないようにしていました。